
2013年度決算説明会

株式会社 やまねメディカル

2014年5月

本日のプログラム

I. 2013年度決算概要

II. 2013年度の業績分析と
2014年度の事業戦略

III. 2014年度業績予想と配当計画

IV. 資本政策と市場対応

I . 2013年度決算概要

(1) 2013年度損益概要

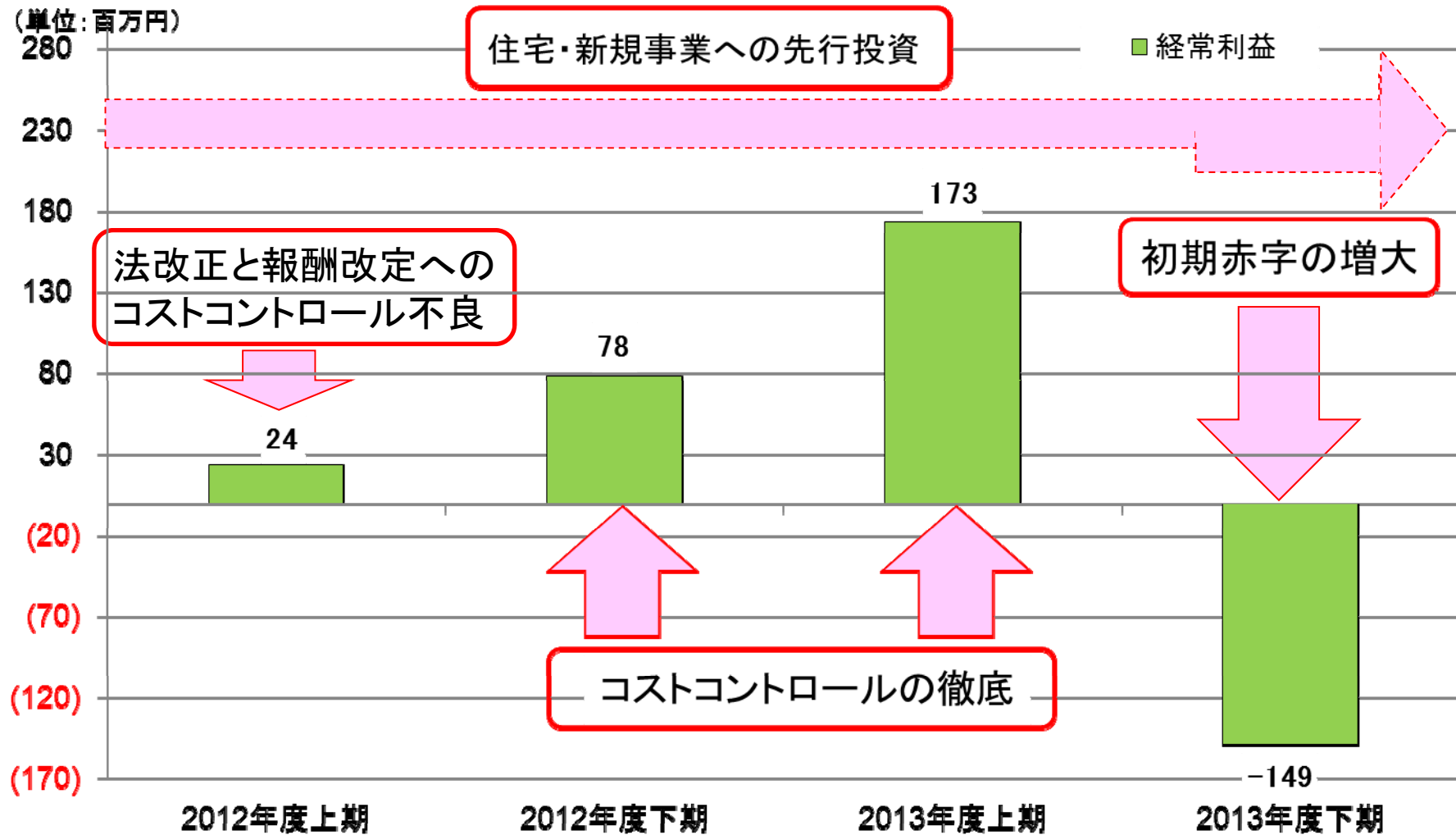
(単位:百万円)

	2012年度 (11期)	2013年度 (第12期)	対前期比	
			増 減	増減率
営業収入	5,359	5,275	△83	98.4%
営業利益	107	51	△55	48.5%
経常利益	103	24	△78	23.8%
当期純利益	45	△57	△103	—

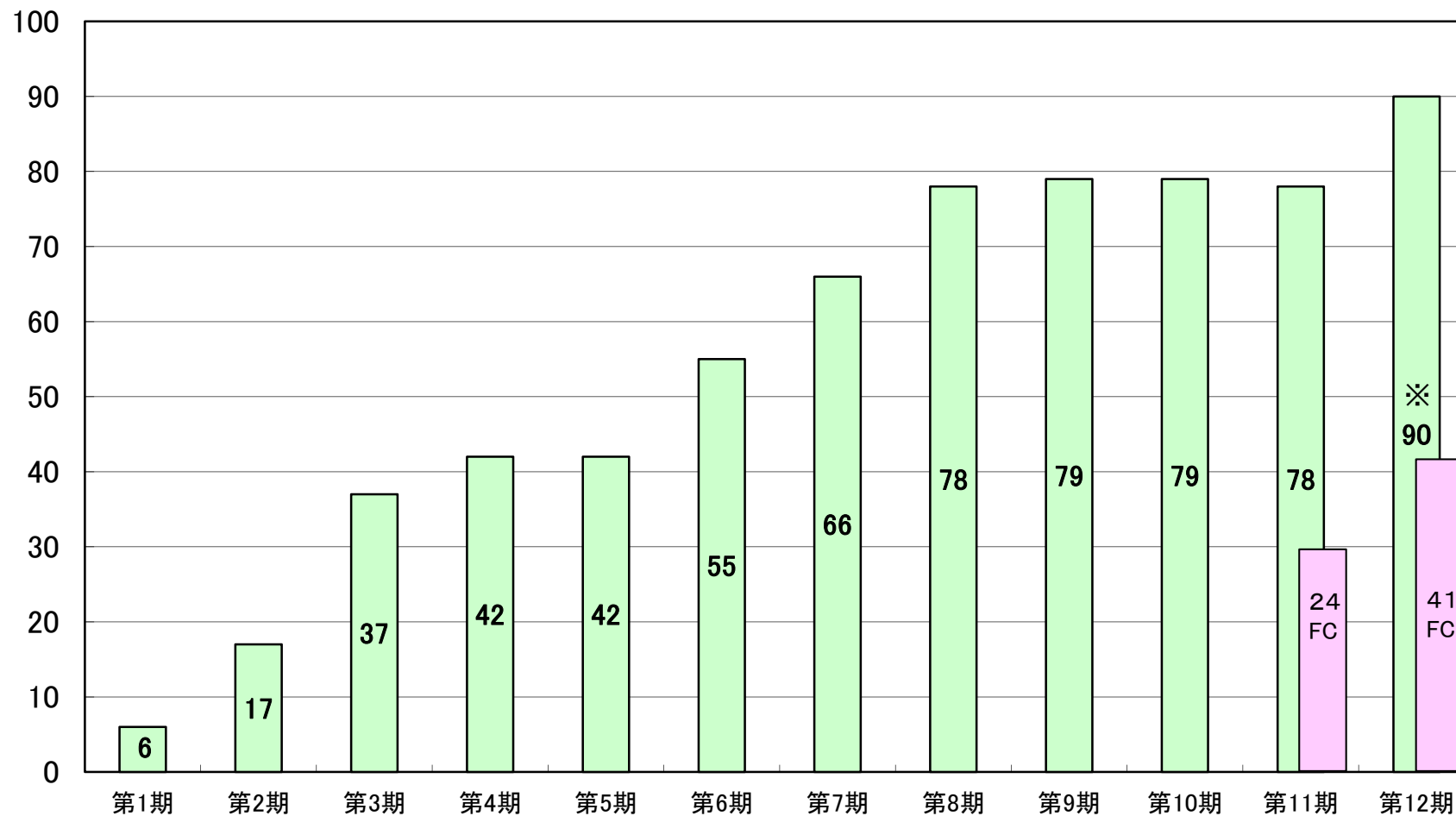


- ① サ付き住宅の初期赤字及び開設前費用の集中的発生による減益。
- ② 当期純利益の赤字には、税効果会計適用基準変更による一時的要因が大きく作用。

(2) 経常利益の推移



(3) 施設数の推移



※ 小島新田、小平、屏風ヶ浦を他施設へ統合

(4) 比較貸借対照表

(単位:百万円)

	2013年3月	2014年3月	増減		2013年3月	2014年3月	増減
現金預金	1,178	1,703	525	短期金融負債	459	860	401
未収入金	874	901	27	その他	474	513	39
その他	163	235	72	流動負債計	933	1,374	441
流動資産計	2,214	2,839	624	社債	410	337	△73
有形固定資産計	927	846	△82	長期借入金	657	1,130	473
無形固定資産計	7	11	4	その他	166	175	9
投資その他資産計	457	670	213	固定負債計	1,233	1,642	409
固定資産計	1,391	1,526	135	負債合計	2,166	3,016	850
				資本金	304	304	0
				剰余金等	1,134	1,044	△90
				株主資本計	1,439	1,349	△90
				純資産合計	1,440	1,350	△89
資産合計	3,606	4,366	760	負債純資産合計	3,606	4,366	760

(5) 比較キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

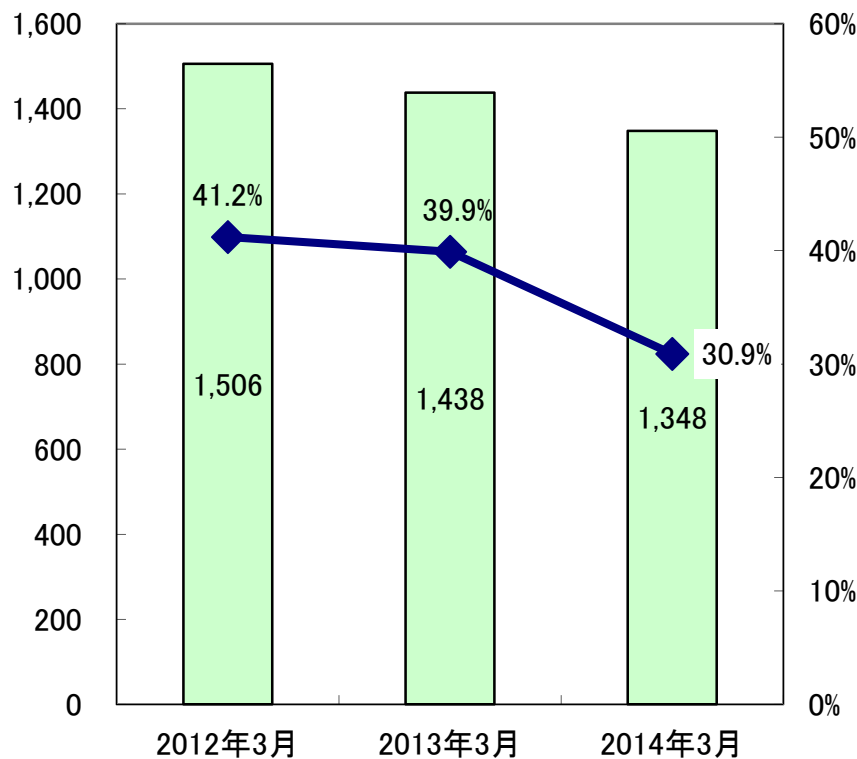
	2012年度(第11期)	2013年度(第12期)	増減
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	97	38	△59
税引前純利益	77	△26	△103
減価償却費等	101	88	△13
売上債権の増加額	26	△27	△54
未払金の減少	△100	50	149
法人税等の支払額	△56	△36	21
その他	49	△12	△60
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△43	△263	△220
(フリー・キャッシュ・フロー)	54	△226	△280
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	13	751	737
IV 現金及び現金同等物の増加額	67	525	457
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,111	1,178	67
VI 現金及び現金同等物の期末残高	1,178	1,703	525

(6) 株主資本と有利子負債の状況

株主資本

(単位:百万円)

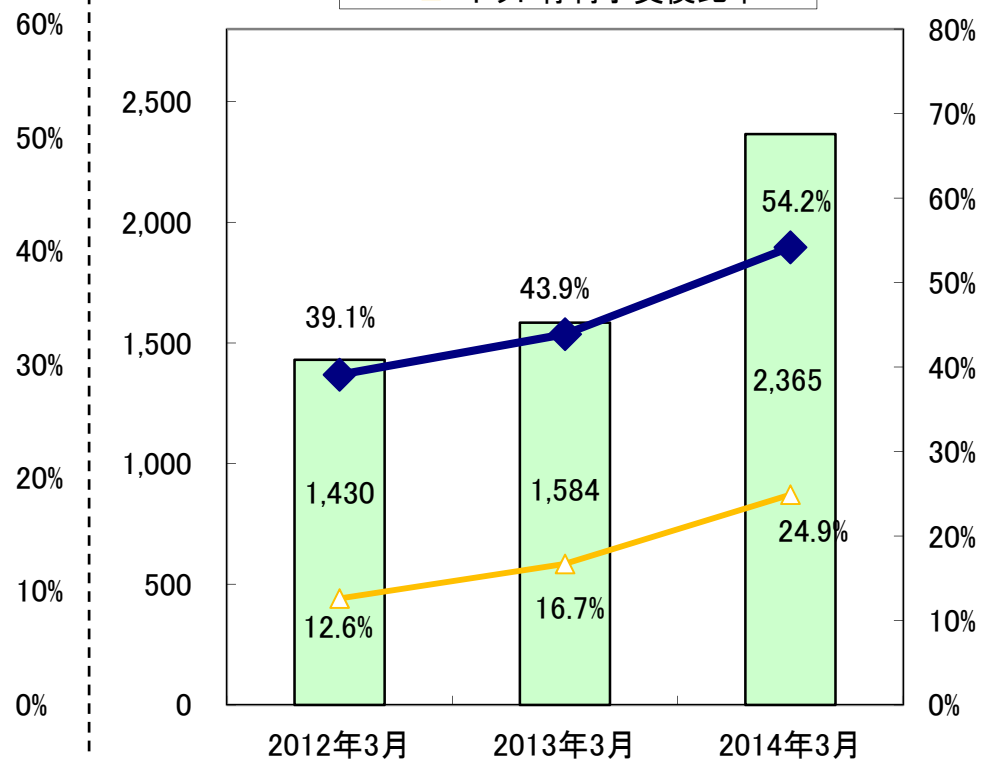
■ 株主資本 ◆ 株主資本比率



有利子負債

(単位:百万円)

■ 有利子負債
◆ 有利子負債比率
△ ネット有利子負債比率



現預金保有高と有利子負債の両建を調整したネット数値では財務の健全性維持

Ⅱ. 2013年度の業績分析と 2014年度の事業戦略

(1) 前期業績の分析と課題

- ① 通所介護事業
売上減少 → 引き続き立て直し必要
- ② 高齢者住宅事業
出足低調 → 業務改善必要
- ③ 周辺事業
フード(給食、弁当)事業開始 → 調整期間

①通所介護事業の現状と減収の原因分析

- 2006年からの小規模優遇政策による小規模施設の激増による需給の悪化 → 利用者数の減少
- サービス内容の陳腐化と競争力の低下 → 利用者数の減少
- 採用難による人材改善活動の停滞 → 競争力停滞
- 加算サービスの中止 → 一人当たり単価の減少
- 統廃合3ヶ所実行

②高齢者住宅事業の現状

- 前期14施設開設
→ 今期上期24施設開設予定
- 前期は低調な入居状況
→ 改善活動中

③その他事業の現状

- 給食事業開始
- 弁当事業開始
- 物販等その他事業も準備中

(2) 政策動向と市場環境

- 地域包括ケアシステムの整備推進
- 医療から介護へ、施設介護から在宅介護へが基本方針
- 施設介護総量規制の維持と高齢者住宅整備の推進
- 通所介護は給付の重点化と類型化？の方向(給付抑制)
- 景気浮揚による採用環境の悪化
- 特に関東と東日本での建築費用高騰と工事の遅延傾向

(3) 事業戦略

- ① 国策推進を支援する事業展開
 - 1) 地域包括ケアシステム推進へ貢献できる福祉拠点づくり
 - 2) 介護事業も多角化検討

- ② 「特化と集中」から「シナジーネットワーク」戦略への転換
 - 1) 事業の多角化によりシナジーのネットワーク構築を目指す
 - 2) 今後介護保険外事業にも注力



今期より「事業変革」の本格始動

(4) 今期の重点課題

- ① 通所介護事業の立て直し
- ② 「事業変革」の推進
- ③ 組織力の強化

①通所事業立て直しの強化

- 1) 指導体制強化
- 2) コストコントロール継続
- 3) サービス内容改善
- 4) 必要に応じた統廃合の推進

②「事業変革」の推進

1) 住宅事業推進

- 今期の施設新設は30程度を予定
- 入居率の向上

2) その他周辺事業推進

- 自社施設向けフード(給食、弁当)事業開始
- M&Aにも積極的に取り組み多角化を積極推進

③組織力の強化

- 1) マネジメントチームの補強、強化
組織の拡大と高度化への準備
- 2) 人材改善活動
採用活動の改善と教育指導活動強化
- 3) 組織のしくみの改善
組織改革の実行
- 4) 団結力の向上
企業理念の浸透等社員のベクトルの統一

Ⅲ. 2014年度業績予想と 配当計画

(1) 2014年度業績予想

(単価:百万円)

	2013年度(第12期)		2014年度(第13期)	
		前年比		前年比
営業収入	5,275	98.4%	6,400	121.3%
営業利益	51	48.5%	100	192.5%
経常利益	24	23.8%	80	325.0%
当期純利益	△57	—	45	—



先行投資が業績の下振れ要因となるも、増収増益を予想
 (先行投資は、業績改善活動費用と新規事業への初期投資費用)

(2) 配当計画について

1円／株を予定

IV. 資本政策と市場対応

(1) 前期の資本政策と市場対応

1) 前期(第12期分)の配当

1円/株

2) 社債の発行と長期借入金調達

新規事業資金への充当

(2) 今期の資本政策と市場対応

1) 配当政策

1円／株を予定

2) 市場対策

特に予定なし

- 本資料は、我が国において一般に公正妥当と認められた会計原則に基づき作成された2013年度の業績、並びに2014年度の予想業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。本資料は、2014年5月9日現在のデータに基づき作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。
- 本資料は将来の予測等に関する情報を含みますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々状況により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。
- 本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社やまねメディカルに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。